

「オリンピック肺炎」って知っていますか？

パリオリンピック&パラリンピックの興奮がまだ続いている中、**マイコプラズマ肺炎**が流行の兆しを見せています。マイコプラズマ肺炎の流行は4年周期で起こっていたことがあり、そのため「**オリンピック肺炎**」とも呼ばれていました。近年その傾向は崩れ、コロナ禍で報告数が減少していましたが、**パリオリンピック&パラリンピックが開催された今年、感染が急拡大しています。**
～群馬県でも7月中旬以降患者報告数が増加中～

マイコプラズマ肺炎

症状



- ・ 発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、せきなどの症状がみられます。
- ・ せきは熱が下がった後も長期にわたって(3～4週間)続くのが特徴です。
- ・ マイコプラズマ肺炎に感染した人の多くは気管支炎ですみ、軽い症状が続きますが、一部の人は肺炎となったり、重症化したりすることもあります。
- ・ また、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を併発する症例も報告されています。

マイコプラズマ肺炎

感染経路 治療

- ・ 感染しているヒトから飛沫感染や接触感染により感染します。
- ・ 感染してから症状が出るまでの潜伏期間が長いです(2～3週間)。
- ・ 保育施設、学校などの閉鎖施設内や、家庭などで感染が広がることが多いです。
- ・ マイコプラズマ肺炎は抗菌薬で治療ができます(※)。

※ 処方については医師の判断によります

感染対策や
その他詳しい情
報はこちら

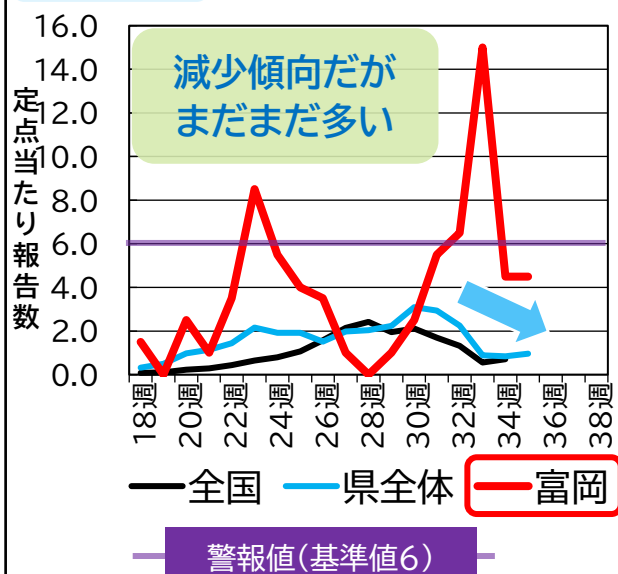


マイコプラズマ肺炎
(厚生労働省HP)

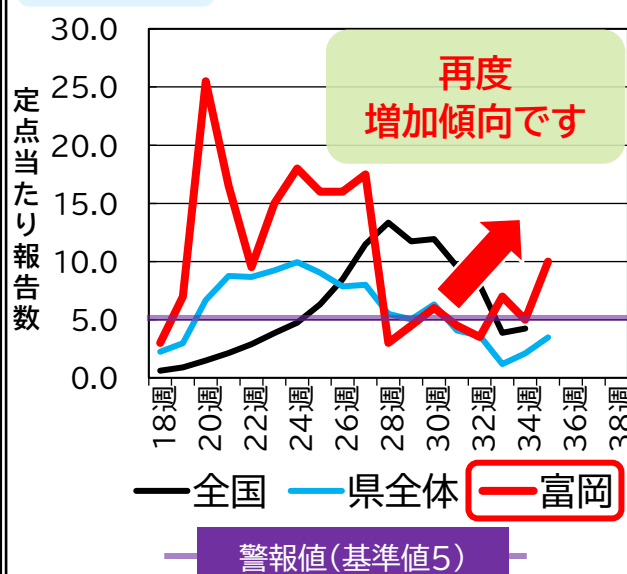
全数報告(富岡保健所管内)

なし

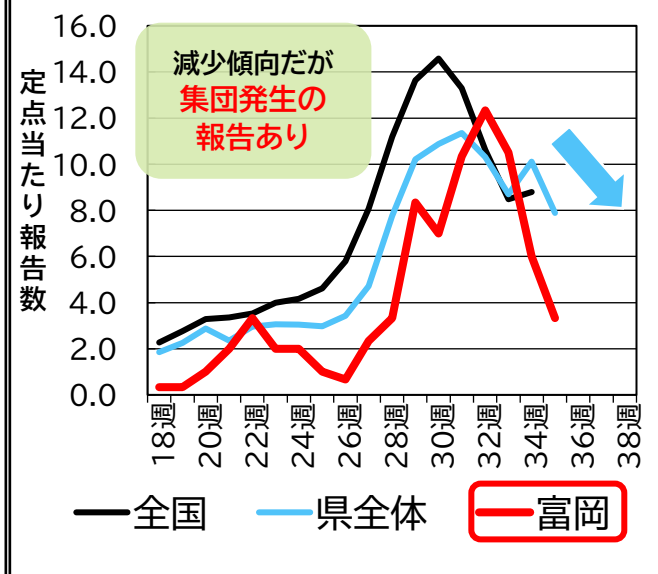
夏風邪 ヘルパンギーナ



夏風邪 手足口病



新型コロナウイルス感染症



※お盆休みの影響により、第32～33週の患者報告の動向は参考値になります

感染症法に基づき実施されている感染症発生動向調査(群馬県)のデータを元に集計・作成しております

★その他の感染症の情報は群馬県ホームページで公開しています★
 「群馬県感染症情報」で検索するか、以下URLもしくはQRコードからご確認ください。
<https://www.pref.gunma.jp/page/3296.html>

